

上伊那
森林組合さんに
聞きました

ペレット ストーブの魅力

ストーブを炊くと中に炎が見えます。輻射熱で温めますので部屋は薪ストーブに近い心地よい温まり方となります。また、薪ストーブと同じく朝にガラス窓が結露しません。



薪ストーブは電気を使用しませんが、ペレットストーブはコンセントがあって電気を使用します。この電気はペレット燃料をタンクから炉に送ったり、最初に点火したり、多くの機種ではファンを回して温風を出したりするのに使います。

安全性

緊急時には
自動でストップ

操作性

ペレットを入れて
スイッチ一つで
簡単にスタート

実用性

薪に比べて灰が少なく
メンテナンスも簡単

ラーチアンド
パインの木平さん
聞きました

薪 ストーブの魅力

大きなガラスから見える炎は薪ストーブの魅力です。見て楽しむ優雅さが強調される場合が多いのですが、暖房機器としても薪ストーブは優秀です。本当に暖かいのです。「家の中で焚火」と考えると、その暖かさが想像できますよね。



暖かさは熱の出力で表します。薪の入れ方や薪ストーブの大きさにもよりますが、薪を1時間に3kg(薪3〜4本)消費する場合、薪ストーブの出力は12,000Wにもなります。800Wの電気ストーブ15台分です。どうですか?暖かさが伝わりましたか?

木質バイオマスストーブの 導入補助について



申請方法などは
こちらから

令和7年4月1日～令和7年12月末日
(年度予算の上限に達した時点で終了)

一般家庭を対象とした木質バイオマスストーブ導入にかかる対象経費の補助を実施しています。

ぜひ導入をご検討ください

対象機器の条件

木質バイオマス依存率(バイオマス発熱量÷バイオマスと非バイオマスの発熱量×100)が60%以上で、副燃料として化石燃料を常時使用することを前提とするものの以外のもの

補助率と補助金額

補助率

3/4

補助金額: 上限100万円

EDITOR'S NOTE

編集後記

そろそろ初雪の足音が聞こえてきました。取材にお邪魔すると、ソーラーパネルが住居の屋根に載らないご家庭でも色々柔軟に対応しているのだなと嬉しく感じました。今月の笠置さんのところは離れに載せたり、先月の字引さんのところは空き地に設置をしたり。古い建屋が多いと思うので、個別にご相談いただければ幸いです。

斉藤 博久
(合同会社 HiTTiSYO)

Instagram



WEB



〔発行元〕生坂村 〔編集〕いくさかゼロカーボン事務局
〔電話〕080-7059-2330 〔メール〕info@green-ikusaka.org
〔住所〕生坂村5471-8(旧窪田商店) 〔平日〕9:00~17:00



TOPICS

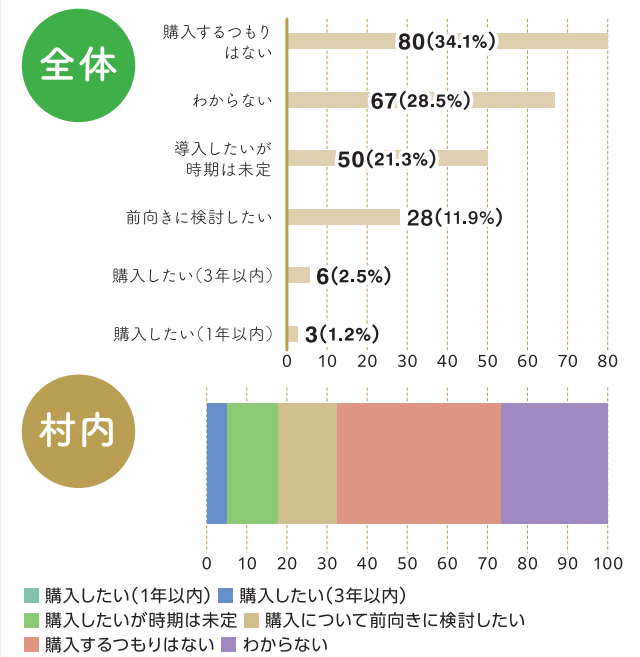
○赤とんぼフェスティバル 脱炭素アンケート報告 ○EV参考情報
○PPA事業 ○木質バイオマスストーブの導入補助について など

Vol.
23
2025 NOV.

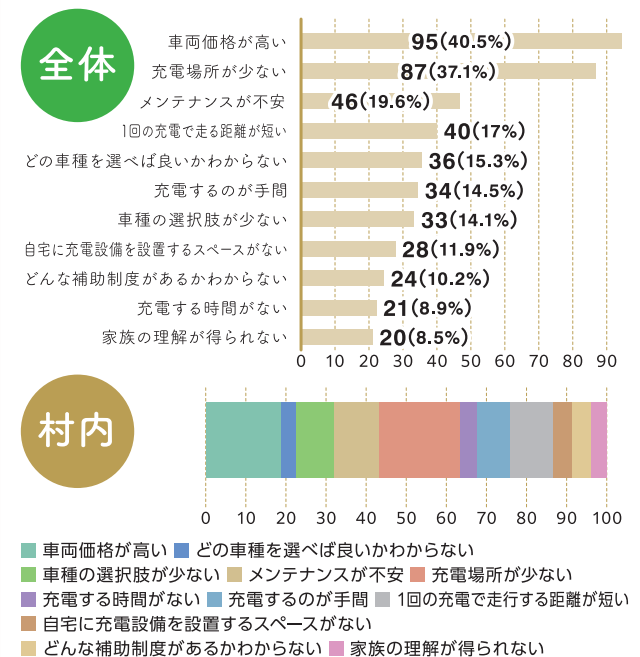
赤とんぼフェスティバルでの 脱炭素アンケートについて

集計結果(234名の方が回答、うち村内在住者59名)

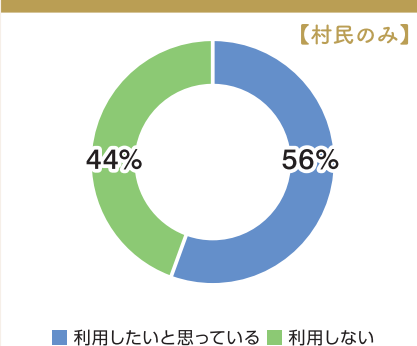
① EV車購入の意向



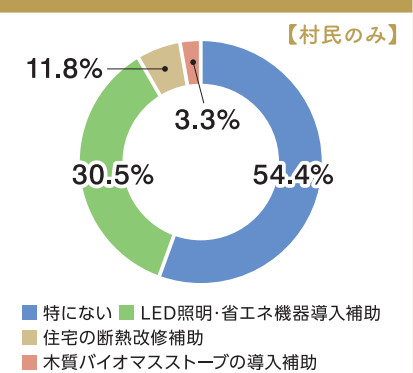
② EV車購入にあたっての課題 (複数回答可)



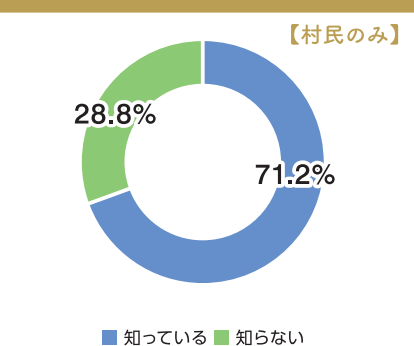
③ 公用車EVカーシェアの利用希望



④ 現在生坂村で実施している補助制度の活用意向



⑤ (株)いくさかてらすについて



アンケートから見てきたこと (村民意識と今後の施策検討のポイント)

EV車に関する意識と課題

- 回答者の約37%がEV車の購入に前向きな姿勢。
- 一方で「車両価格の高さ」や「充電インフラの不足」を障壁として挙げた方が多い。

今後の取り組みポイント

- 購入支援策の検討
- 主要施設への立ち寄り型充電スタンドの設置

脱炭素施策の認知と補助制度の活用意向

- 村の施策や地域エネルギー会社への関心・認知度は一定程度ある。
- しかし、自身で補助制度を活用したいかどうかは別問題であり、活用意欲はやや低調。

今後の取り組みポイント

- 省エネ機器の導入などは「個人レベルでできる脱炭素の取り組み」ということを分かりやすく伝える工夫

まとめ

補助制度の利用促進や、ガソリン車からEV車への移行は、脱炭素の重要な取組みの一つです。これらが進めば生坂村の目指すカーボンニュートラルも目標達成に近づくと期待されます。アンケート結果を受け止め今後の情報発信や施策検討に活かします。

EV参考情報

EV車には、回生ブレーキという機能があります

回生ブレーキとは、減速させるためにブレーキを踏んだりアクセルを離したりすると発生するエネルギーを無駄にせず回収し電力に変換して駆動用バッテリーに充電し再利用できる機能のことです。そのため、長い坂道を下っている時などにはバッテリー残量が増え、航続可能距離が延びることもあります。これはガソリン車にはない電気自動車のメリットの一つです。

公用車 EVカーシェアリング体験レポート

【レポート】HiTTiSYO 斉藤

役場の公用車EVカーシェアリングに申し込み、日産サクラを借りて走ってみました。乗員は2名。AM9時にスタートして麻績ICを目指します。この時点では航続可能距離165kmの表示。途中登りがかなりありますが、馬力は問題なし。むしろ軽自動車規格なのを考えるとガソリン車より静かで快適です。

高速道路は80キロで巡航。長野ICを越え、最近オープンしたAEON MALL須坂を横目に通過します。このあたりまででバッテリー残量は80%を少し切る程度。

信州中野IC手前でバッテリーが65%になったので降りて昼食を食べるところを探します。昼食休憩後、バッテリーが60%を切ったので同じ道のりを帰路につきます。帰りは、高速道路が少し登りが多いためかバッテリーの

減りが少し早く感じます。

麻績ICを降りたところで、パネルに表示された走行可能距離と生坂村役場までの距離がピッタリ同じでヒヤヒヤしましたが、ここで気付きが1つありました。

下り道でアクセルを離したり、ブレーキを踏むたびにモーターの使用パワーを示すグラフがアクセルを踏んだ時と逆に伸びています。これは回生ブレーキといって、動いているクルマを止める時のエネルギーを電気に変換して充電してくれるシステムだそうです。

麻績からの山越えだけで航続距離が6kmも増えました。村役場に到着時のバッテリー残量は5%でした。総距離145キロ。

カーシェアはAM9時～PM4時までが原則になりますが、少し遠出して買い物する時などはお得にご利用できそうです。



感想まとめ

- 馬力、加速はガソリン車と比べても気にならない。●ガソリン車と比べて燃料代が約1/3とお得だった。
- 回生ブレーキでの充電がけっこう溜まるので高速よりも下道での使用の方が燃費が良さそう。

PPA事業も着々と進んでいます

一般家庭に設置された太陽光パネル・蓄電池の稼働が着々と始まっています。

笠置 様 (上生坂地区)



村で推進している事業ということで村民として協力したいという気持ちがありました。茅葺き屋根の古民家なので、屋根には載せられないという話があり諦めかけましたが離れ2軒に分けて載せることができました。蓄電池も設置が済み、稼働が始まりました。

〔契約に関すること〕

株式会社いくさかてらす Tel 0263-69-2388